

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 7月 6日 更新

事務事業名		下水道使用料金決定収納等事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	水道局	課長名	水野 孝春	
	施策	10	水環境の保全			所属課	上下水道課	担当者名	主事 松岡 綾	
	基本事業	30	水質の浄化			所属班	庶務料金班	(内線)	1164	
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	下水道法、下水道条例		成果優先度評価結果	⑫
	下水	1	1	1	10223				コスト削減優先度評価結果	—
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	下水道使用料金の決定・収納について、水道事業会計に事務(納付書作成、徴収、検針等)を委託する。市営上水道以外の水を使用する場合に必要な事務(下水道量水器取替、検定、量水器購入)流域及び特環下水道使用料金徴収を促進するため徴収事務を委託する合併前の旧団体にて、下水道事業を開始すると同時に下水道施設の整備及び維持管理を行うため、また、その財源確保のために開始した。5年前と比べると、財政事情の更なる悪化に伴い、財源の確保も厳しくなっており、合併後、住民負担の公平を保つため下水道使用料を統一したが、下水道財政の健全化を図るため使用料の値上げが必要。平成24年度より上下水道料金徴収業務等については民間事業者へ委託している。
【業務の流れ】	下水道使用料算定に伴う検針及び調定、納付書及び督促状・催告状の作成・発送、収納・個別徴収、過誤納付の通知、支払(還付) 水道事業会計に事務を委託し負担割合により負担金支出、徴収及び検針契約事務及び報償費の算定、支払い事務等
【主な予算費目】	報償費、備品購入費、負担金補助及び交付金、償還金利息及び割引料(還付金)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	使用料の未納額がそのまま、財源の不足に繋がり、議会等より徴収率の更なる向上を要望されている。使用者から、クレジット払いを可能にして欲しいとの要望がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	下水道使用料算定に伴う検針、賦課(決定) 収納、負担金支出事務等・下水道量水器の管理、検針、データ作成、電算処理事務等	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		負担金支出事務等・下水道量水器の管理、データ作成、電算処理事務等
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 千円	予算の主な増減の理由
→ ア 調定額(現年度)	千円	料金徴収の民間委託により、下水道事務手数料等負担金が増加したことに伴う増。
イ 調定額(過年度)	千円	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・下水道使用者		(単位) 世帯
		→ ア 下水道使用者数(世帯)
		イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
・下水道使用料の適正な算定と確実な収納を図る		(単位) %
		→ ア 収納率(現年度)
		イ 収納率(過年度)
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
下水道使用量の適正な算定と確実な収納を図ることが必要であり、前年を下回らない収納率を設定。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
① 活動指標	ア	千円	553,682	563,964	585,500	575,359	590,000	600,000	600,000	600,000	
	イ	千円	6,701	7,319	3,000	8,634	3,000	3,000	3,000	3,000	
② 対象指標	ア	世帯	17,575	18,025	17,610	18,552	18,550	18,560	18,570	18,580	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	99.5	99.1	99.5	99.4	99.5	99.5	99.5	99.5	
	イ	%	26	30.71	50	35.12	50	50	50	50	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	18,125	17,221	22,419	20,003	28,474	22,419	22,500	22,500
		繰入金	千円								
	一般財源	千円									
(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	18,125	17,221	22,419	20,003	28,474	22,419	22,500	22,500	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	28,456	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	12	6	6	5	6	6	6	6	
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	1,330	959	1,000	800	1,000	1,000	1,000	1,000	
	(B) 人件費計	千円	5,293	3,951	4,120	3,230	4,120	4,120	4,120	4,120	
トータルコスト(A)+(B)		千円	23,418	21,172	26,539	23,233	32,594	26,539	26,620	26,620	

事務事業名	下水道使用料金決定収納等事務	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 特に過年度の収納率が目標値を下回った。世界的な経済不況により、年々滞納世帯は増加傾向にある。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 上下水道お客さまセンターによる滞納者対策強化により、収納率向上に努める。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 上下水道料金の徴収については平成24年度より民間委託を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 上下水道料金の徴収については平成24年度より民間委託を実施している。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 上下水道料金の徴収については平成24年度より民間委託を実施している。 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 上下水道料金の徴収については平成24年度より民間委託を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 上下水道料金の徴収については平成24年度より民間委託を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 上下水道料金の徴収については平成24年度より民間委託を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

上下水道料金の徴収については平成24年度より民間委託を実施している。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>上下水道料金の徴収については平成24年度より民間委託を実施している。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>平成24年度より上下水道料金徴収業務等については民間の事業者へ委託しているので、成果を落とすことなくコスト削減に繋がるよう努めたい。</p>																						